

新緑の鞍馬・貴船へ

(第96回くらわん会 2004/06/01)

叡山電鉄の終着駅の鞍馬、物寂びた中にも風格が感じられる駅舎が建つ。ぎりぎりになって駆け込んでくる人も沢山おり、130名の参加になる。駅の広場に大きな天狗様の像があり、鞍馬の山深いところまでやってきた感がある。

昨日の大雨で貴船への下り道がぬかるんで滑りやすくなっており、まずは鞍馬寺まで行って様子を見ることになる。立派な仁王門をくぐり、しばらく坂を登ると由岐神社がある。この神社は鞍馬の火祭りとして有名であり、10月の深夜、僧兵達が大松明をかざして山を駆け下る。

九十九折の急坂を杖を突きつき登っていく。周りは鬱蒼とした森が広がり都会暮らしには疲れた心を癒してくれる。古びた四脚門で休憩し、ここからはまたしばらく石段の登りが続く。

鞍馬山の中腹に建つ鞍馬寺は夏でも涼しく、1,200年の歴史と靈気が漂う。広い境内には本殿、多宝塔、不動堂などの堂宇建ち並び、真っ赤な欄干からは遠く比叡山の山並みが望まれる。

ここで昼食になり境内のあちこちに散らばる。一緒に登ってきた小学生の一団は元気よく走り回っている。ここからは3つのグループに分かれることになる。

まず貴船まで抜ける元気のよい人達、30人くらいが勢いよく出発する。続いて大多数の人達が、大杉権現社あたりまで行くことになる。あと小人数の人はここから山を下っていく。

かなりの石段を登っていく。靈宝殿とか牛若丸息継ぎの水とか地蔵尊などが現れる。登り切った所から木の根道になる。このあたりは岩盤が固く、地下に根が張れないため地上に縦横に木の根がはりめぐらされている。

鬱蒼とした杉木立の中に大杉権現が建つ。いかにも牛若丸が天狗を相手に修業をしたという雰囲気漂っている。

先発隊はここから奥の院、魔王殿を通り貴船まで下っていく。僕達第二隊は来た道を引き返すことになる。

京阪出町柳に着いた人から順次叡電で鞍馬に向かう



今回の受付では、地図の他に百回記念誌や記念行事の資料を手渡すなど忙しい



狭い駅前広場で原会長から百回記念行事や記念誌についての説明があった



昨日の大雨で貴船への下り道がぬかるんで滑りやすく、まずは鞍馬寺まで行って様子を見るとコース説明





観山電鉄の終着駅の鞍馬、ぎりぎりになつて駆け込んでくる人も沢山あり、百三十名の参加

観電、貴船口で先発の貴船に下った人達が乗りこんで来た。今日はくらわん会としてはかなりハードな行事となったが、2手にわかれて元気に歩きとおした。

石田富雄記



お土産の店が並ぶ鞍馬駅前を元気づく出発

駅の広場に大きな天狗様の像があり、鞍馬の山深いところまでやってきた感がある



仁王門をくぐって由岐神社に向かう



仁王門は明治四十四年に再建、昭和三十五年に移築修理、左側の扉一枚は寿永年間のもの、仁王像は湛慶の作



由岐神社は鞍馬寺の仁王門の内側にあるが、鞍馬寺の一部ではなく、天慶二年に平安京の北方の鎮めとして創建されたもの、祭神は大己貴命と少彦名命で、『鞍馬の火祭』はこの神社の例祭

由岐神社の御神木の杉は樹齢八百年、高さ50m、根周り12mで、京都市の天然記念物





鞍馬山の気は、清く美しく活力に満ち、山が生きている、心身甦りのための道場、立ち止まって深呼吸
 由岐神社の末社、白長弁財天社は古くより、この地にお祀りされ、全ての願い事が叶うといわれる



中門（四脚門）を過ぎると本殿金堂まで急階段が続く
 九十九折参道の終点近く、勅使がくぐった「中門」四脚門があり、ここで休憩、その先はまたまた急な階段



本殿金堂に祀られている本尊は「尊天」といわれ、月輪の精霊であり慈愛の象徴である「千手観世音菩薩」、太陽の精霊であり光の象徴である「毘沙門天王」、大地の霊王であり活力の象徴である「護法魔王尊」の三身を一体としたものという



牛若丸（義経）が兵法修行した鞍馬寺は、鑑真和尚の高弟鑑禎上人が毘沙門天を安置し創始、その後真言宗の寺になったが、天永年間に天台宗に復し、昭和22年には鞍馬弘教が立教総本山に、本殿、多宝塔、不動堂などがある





大杉権現辺りの参道は木の根道と呼ばれている、岩盤が地表近くまで迫っているので木の根が地中深く入り込むことが出来ず、根が地表に露出している、参道が整備され石段がつけられ、木の根道が少なくなってきた



奥の院、魔王殿の拝殿、ここから奥の本殿を礼拝、本殿の周りは柵に囲まれ通常は拝殿より奥に立入禁止
先発隊は奥の院、魔王殿を通り貴船に下っていく、第二隊は来た道を引き返すことになる



奥の院魔王殿の前から下り坂の山道を約十五分歩いて下りると鞍馬寺西門に着く、ここから貴船神社は近い

貴船の清流にかかる川床



第二隊は来た道を叡電鞍馬駅に引き返す、貴船口で先発の貴船に下った人達が乗りこんで来た
貴船神社本宮は天喜三年(1055)に奥宮より現在の場所に移築され、現在の建物は大正十一年のもの





<行程>

京阪出町柳駅⇒叡電鞍馬駅⇒由岐神社⇒四脚門⇒鞍馬寺⇒大杉権現社⇒奥の院⇒魔王殿
⇒貴船神社⇒叡電貴船口駅 歩行距離：8 km

2004年06月01日(火) 第96回例会 130名参加